

2015/03/10

北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会
(足寄町、下川町、滝上町、美幌町)

北海道 4 町（下川町、足寄町、滝上町、美幌町）が トイザラスとカーボン・オフセットを実施

北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会では、地球温暖化対策への取組みのひとつとして日本トイザラス株式会社と連携したカーボン・オフセットの取組みを実施しました。

本協議会では、共通の地域資源である森林資源を活用し、新たな産業の創出を図るとともに、地球温暖化対策を地域活性化に結び付けながら、持続可能な地域社会の構築を目指すべく取組みを進めています。

このたびの日本トイザラスの事例では、老朽化した機器を高効率な省エネ機器への入替とあわせてカーボン・オフセットを行うことで、さらなる CO2 の排出削減と森林整備や山村の活性化の実現を目指します。

■カーボン・オフセットの概要

北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会※1（会長：下川町長 安齋保、以下：協議会）では、平成 27 年 1 月に日本トイザラス株式会社※2と「オフセット・クレジット（J-VER※3）移転契約」を締結し、「トイザラス 旭川店」の空調機器交換工事で発生した CO2 量の全部を、4 町の森林を間伐することにより創出されたクレジット及び下川町役場のバイオマスボイラーによる化石燃料削減分のクレジットと埋め合わせすることで、CO2 排出量を実質ゼロ化しました。（CO2 排出量 7 t/CO-2、オフセット総量 7t/CO-2）

■今後の取組み

日本トイザラス株式会社はこれまで、地球温暖化対策の取組みとして、各店舗の電気や空調の一元管理による省エネ対策、新店舗や既存店舗における LED 照明化、レジ袋削減による割引サービスの実施などを行ってきましたが、カーボン・オフセットの実施により、さらなる環境負荷低減を目指します。今後におきましても、環境に配慮した事業活動を行うとともに、様々な場面で温暖化防止を推進することで企業の社会的責任（CSR）を果たし、森林をはじめとした環境保全に貢献して参ります。

※1「北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会」

下川町（町長：安齋保）・足寄町（町長：安久津勝彦）・滝上町（町長：長屋栄一）・美幌町（町長：土谷耕治）の 4 町で構成。共通の地域資源である森林の持続的な利用を推進し、我が国の低炭素社会実現への貢献を目的とした自治体発の取組みを行っています。

※2「日本トイザラス株式会社」

トイザラス・インクを親会社とした玩具・ベビー用品の総合専門店で、全国 160 店舗超の「トイザラス」「ベビーザラス」、「トイザラス・ベビーザラス オンラインストア」を運営し、国内外の信頼できるメーカーの質の高い商品をご提供しております。

※3：J-VER（オフセット・クレジット）制度

環境省によって 2008 年 11 月に創設。国内におけるプロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を J-VER クレジットとして公的に認証する制度。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会
事務局：下川町環境未来都市推進課 樋口
TEL：01655-4-2511